

エレミヤ書#12:私たちの霊的な経験にしたがって、新しい契約の内容を経験し、享受して、神のエコノミーを完成する11/23-29 **OL Summary** **I. エレミヤ書が新しい契約に関して予言しているという事実に基づく、エレミヤ書は旧約の書でもあり、また新約の書でもあると考えることができます。私たちは、新しい契約の内容を見て、それをを用いる必要があります。新しい契約の内容は、神が私たちに与える遺贈です。****A. 新しい契約において、四つの祝福が約束されています: 私たちの罪を忘れる(赦す)こと/命の律法(法則)を分け与えること/私たちが神の民になるという特権を持つこと/神を内側の命の方法で知ることができるようにすること。****B. 罪の赦しは神の目的に到達するための手続きにすぎないので、聖書はここで罪の赦しを最後に置いています。しかしながら、私たちの霊的な経験によれば、私たちはまず、赦しから来る清めを得ます。その後、私たちは神を命の法則として享受して、命の法則の中で神の民となり、内側の方法で神に対するさらに深い認識を持ちます。****II. 「私は彼らの不義に対してなだめとなり、もはや彼らの罪を決して思い出さない」(ヘブル8:12, エレミヤ31:34b):****A. キリストは私たちの罪のためになだめをなして、神の義をなだめ、それによって神の義の要求を満たして、私たちを神と和解させました。****B. キリストの尊くすべてに効力のある血は、私たちのすべての問題を解決します。それによって、私たちは神との交わりの中に絶えずとどまり、絶えず神の有機的な救いを享受することができます。****C. キリストの尊い血は神を満足させ、信者たちを神に近づけ、敵のすべての訴えに打ち勝ちます。主の尊い血は、永遠の契約の血でもあります。この事は、レビ記16章において大祭司が至聖所の中へと入った血によって予表されています: 私たちは契約の血によって、実際の至聖所の中へと、すなわち、私たちの霊の中へと入って、神を享受し、神によって注入されるすることができます。****III. 「私は私の律法(laws)を彼らの思いの中に分け与え、それを彼らの心に書き記す」(ヘブル8:10, エレミヤ31:33a):****A. 新しい契約の中心、中心性は、内なる命の法則です。神聖な命の法則、命の霊の法則は、神聖な命の自動的な原則、自然な力です。****B. 三一の神は、肉体と成ること、十字架、復活、昇天という手順を経て、命の霊の法則となり、私たちの霊の中に、「科学的な」法則、自動的な原則としてインストールされ(組み込まれ)ました。****C. 神と私たちの関係は今日、命の法則に完全に基づいています。あらゆる命には法則があり、法則でさえあります。神の命は最高の命であり、この命の法則は最高の法則です。****D. ローマ8章の主題は命の霊の法則です。この章は、全聖書の焦点と宇宙の中心と考えることができます。こういうわけで、私たちはローマ8章を経験しているなら、宇宙の中心にいるのです。****E. 神はご自身の神聖な命を私たちの中へと分け与えることによって、この最高の命の最高の法則を、私たちの霊の中へと入れます。この法則は私たちの霊から、私たちの内側の各部分の中へと、すなわち、私たちの思い、感情、意志の中へと拡大し、いくつかの法則となります。****F. 私たちが主に触れ、主と接触し続けているとき、命の法則、すなわち、命の霊の法則は自動的に、自然に、何の努力も必要とせずに働**

きます。**G. 命の法則の機能は、命の成長を必要とします。なぜなら命の法則は、それが成長してはじめて機能するからです/長子が私たちのためにとりなしているのは、彼が私たちの霊の中へとまいた命が動機づけられて、成長し、発展し、私たちの内側のすべての部分に浸透するためです/神聖な命が私たちの中で成長するとき、命の法則は機能して、私たちを神の長子としてのキリストのかたちに形成し、同形化します。それは、私たちがキリストの団体の表現となるためです。命の法則は私たちを、間違ったことを行なわないように規制するものではありません。それは規制して命の形状を得させます/内住する原型、すなわち、神の長子は、命の法則として私たちの中で自動的に働いて、私たちを彼のかたちに同形化、すなわち、「息子化」します。主は力を尽くして働いて、私たち一人一人を長子と同じにしつつあります/もし私たちがこのすばらしい原型に協力し、開くなら、彼は私たちの霊から外に向かって私たちの魂の中へと拡大します/長子は原型、標準モデルであり、それは神の多くの子たちを大量に複製するためです。彼らは長子の多くの兄弟たちであり、新しい人としての彼のからだを構成して、標準モデルである神の長子の団体の複製また表現となります/命の法則はおもに、何をすべきでないかを私たちに告げるという消極的な意味で機能するものではありません。むしろ、命が成長するとき、命の法則は、私たちを形成する、すなわち、キリストのかたちに同形化するという積極的な意味で機能します。私たちはみな命の法則の機能を通して、神の円熟した子たちとなり、神は彼の宇宙的な、団体の表現を得ます。****IV. 「私は彼らの神となり、彼らは私の民となる」(ヘブル8:10, エレミヤ31:33b):****A. 神が私たちの神となることは、神が私たちの嗣業であることを意味します: 神は人を、神を内容とする器として創造しました。ですから、神は人の所有であり、それは器の内容が器の所有であるのと同じです。****B. 私たちが神の民となることは、私たちが神の嗣業であることを意味します。****V. 「彼らはそれぞれ同じ国民に、またそれぞれ兄弟に教えて、『主を知れ』と言うことは決してない。それは、小さな者から大きな者まで、彼らがみな、私を知るからである」(ヘブル8:11, エレミヤ31:34a):****A. 命の機能は私たちに、内側の命の方法で神を知ることができるようにします。私たちは主観的に、内側から、命の感覚によって、神を知ることができます。命の感覚は、私たちの内側にある神聖な命の感覚、知覚です。****B. 「神に仕え、神のために働くために、クリスチャンは善悪知識の木から離れ続けることを学ばなければなりません。…命の木に触れる者だけが、自分の生活と働きが新エルサレムの中にとどまり続けるのを見ます」。****VI. 究極的に、私たちが、内住する霊を神聖な命の自動的な法則、すなわち、命の霊の法則として享受することは、キリストのからだの中にあり、キリストのからだのためであって、この享受には目標があります。それは、私たちを神格においてではなく、命、性質、表現において神とし、神の永遠のエコノミーの目標、すなわち新エルサレムを完成することです。(OLが長いので、記載のないものの大部分は、CP1~3の中に記載しています)**

CP1:あなたと神との間の新契約の内容は、**①罪が赦され、②命の霊の法則が設置され、作動し、③神の民となる特権を持ち、④命の方法で神を知ることである**

エレミヤ31:33しかし、これらの日々の後に、私が…結ぶ契約はこれであると、エホバは告げられる。私は私の律法を彼らの内なる各部分に置き、それを彼らの心に書き記す。…34そして、彼らはもはや、それぞれ隣人とそれぞれ兄弟に教えて、『エホバを知れ』と言うことはない。まことに、…彼らはみな私を知るようになるからであると、エホバは告げられる。まことに、私は彼らの罪科を赦し、もはや彼らの罪を思い出さないからである。ヘブル8:12なぜなら、私は彼らの不義に対してなだめとなり、もはや彼らの罪を決して思い出さないからである。詩130:4あなたには赦しがあるので、あなたは畏れられます。Ⅰヨハネ1:7しかし、神が光の中におられるように、私たちが光の中を歩くなら、私たちは互いに交わりを持ち、御子イエスの血が、すべての罪から私たちを清めます。9もし、私たちが自分の罪を告白するなら、神は信実で義であられるので、私たちの罪を赦し、すべての不義から私たちを清めてくださいます。

OL1:新しい契約において、**四つの祝福**が約束されています。**①**私たちの不義をなだめ、私たちの罪を忘れる(赦す)こと、**②**神聖な命を私たちの中に分け与えることによって、命の律法(法則)を分け与えること、**③**神を私たちの神として得て、私たちが神の民になるという特権を持つこと、**④**命の機能を持ち、私たちが神を内側の命の方法で知ることができるようにすること。

OL2:罪の赦しは神の目的に到達するための手続きにすぎないので、聖書はここで罪の赦しを最後に置いています。しかしながら、私たちの霊的な経験によれば、私たちはまず、赦しから来る清めを得ます。その後、私たちは神を命の法則として享受して、命の法則の中で神の民となり、内側の方法で神に対するさらに深い認識を持ちます。

OL3:キリストは私たちの罪のためになだめをなして、神の義をなだめ、それによって神の義の要求を満たして、私たちを神と和解させました。**OL4:**キリストの尊くすべてに効力のある血は、私たちのすべての問題を解決します。それによって、私たちは神との交わりの中に絶えずとどまり、絶えず神の有機的な救いを享受することができます。神の御前に、主の贖う血は、一度で永遠に私たちを清めたのであって、その清めの効果は繰り返される必要はありません。しかしながら、私たちが神と交わり、自分の良心が神聖な光によって照らされるときはいつでも、私たちは自分の良心において、主の尊い血の恒常的な清めを即時的に適用することを何度も必要とします。いったん神が私たちを赦すなら、神はご自身の記憶から私たちの罪を消し去り、もはやそれらを思い出しません。罪の赦しの意味は、神の御前で私たちに対する罪の訴えを取り除き、私たちを神の義の刑罰から救い出すことです。神は私たちの罪を赦すとき、私たちが犯した罪を私たちから離れさせます。

OL5:神が私たちの罪を赦した結果は、神との回復された交わりの中で、私たちが神を恐れ、神を愛することです。

適用: 新人及び青少年・大学生編

新人や若者の皆さん、神とあなたの間には新しい契約があります! その契約の内容は、**①罪が赦されること、**

②命の霊の法則が設置され、作動すること、③神の民となる特権があること、④内側に命の方法で神を知ることです。あなたはこの契約内容を読めば読むほど、噛みしめれば噛みしめるほど、喜びで満たされるでしょう。

例えば、あなたが会社に就職すると、会社と契約を結びます。毎月の給料やボーナスの条件、休暇制度や会員特典などの福利厚生など、あなたが享受する権利を含んでいます。その契約内容が良ければ、就職先の会社の経営状態が良いこととその会社があなたを高く評価していることを示します。あなたが会社と良い契約を結ぶことができたなら、その内容を見て喜ぶでしょう。そして実際に働き始めると、契約内容を享受することができます。同様に、あなたはまず、新約の契約内容をよく読み、理解して下さい。あなたと契約を結んだ会社は神の永遠のエコノミー会社であり、その契約内容は永遠で卓越しています。

精神科医は、罪に対する良心の訴えが対処されると精神的な病のかなりの部分を解決できると言っています。神の御前で罪が赦され、罪の重荷から解放され、清い良心を持つことは、精神衛生上、非常にすばらしいことです。そうすれば、あなたは精神的に安定し、強くなります。

しかし、罪が赦されるのは、それ自体のためではありません。それは、あなたの罪が赦された後、前進して命の霊の法則の経験を持つためです。

Ⅰヨハネ1:9FN「**すべての不義**」:すべての不義は罪です。両方とも私たちの間違った行為を言います。「罪」は、神と人に対する私たちの間違った行為のとがめを示します。「不義」は、私たちの間違った行為の汚れを示し、それは神と人に対して正しくないようにします。とがめは神の赦しを必要とし、汚れは神の清めを必要とします。**神の赦しと神の清めは、神との中断された交わりを回復するために必要です。それは、私たちが、とがめのない正しい良心をもって、妨げのない交わりの中で、彼を享受するためです。**

例えば、あなたは友人や両親に対して罪を犯しました。それを無視しても良心はあなたに訴えてきます。この時、あなたは自分の罪を告白して、清い良心を持つべきです。しかし、清められればそれでいいものではありません。清められ、良心のとがめが無くなるのは、あなたが主との命の交わりに入るためです。あなたは主と交わり、彼らに謝罪し、主の中で彼らとの適切なコミュニケーションを回復させてください。罪が赦された人々は、前進して、主イエスの御名を呼び求め、命の霊の法則を経験すべきです。そして、聖徒たちと共に命の中で成長し、共に建造され、一つの神の民、一人の新しい人になり、神を団体的に表現し、神を代行することです。この目的に達して初めて、あなたは神を満足させることができます。

祈り:「主イエスよ、主を信じ受け入れた私に、神の四つの祝福が約束されていることを感謝します。私が犯した罪を告白するなら、神はご自身の記憶から私の罪を消し去るまで私の罪を赦し、私の良心を清めてくださいます。しかし罪の赦しはそれ自体が目的ではありません。清められた良心をもって神との交わりを回復し、命の分与に開き、さらに神を得ます。命の霊の法則の機能を発展させ、兄弟姉妹と組み合わせられ、一つの神の民となります」。

CP2: 命の霊の法則が、新しい契約の中心である。

献身を更新し、短く祈って命の霊の法則を作動させる

ローマ8:2 なぜなら、命の霊の法則が、キリスト・イエスの中で、罪と死の法則から、私を解放したからです。

OL1: キリストの尊い血は神を満足させ、信者たちを神に近づけ、敵のすべての訴えに打ち勝ちます。主の尊い血は、永遠の契約の血でもあります。私たちは契約の血によって、実際の至聖所の中へと、私たちの霊の中へと入って、神を享受し、神によって注入されることができます。新約の啓示によれば、私たちは契約の血によって神の御前にもたらされるだけでなく、また神ご自身の中へともたらされます。贖い清める血は、私たちを神の中へともたらします! 契約の血はおもに、神が私たちの分け前となって、私たちに享受を得させるためです。

OL2: 最終的に、キリストの血は新しい契約の血として、神の民を新しい契約のさらにまさった事の中へともたらし、神はこの契約の中で神の民に、新しい心、新しい霊、神の霊、内なる命の法則(神ご自身と彼の性質、命、属性、美德を指す)、神を知る命の能力を与えます。究極的に、新しい契約の血、すなわち永遠の契約の血は、神の民が神に仕えることができるようにし、また神の民を彼らの分け前(命の木また命の水)としての神の満ち満ちた享受の中へと、今も、また永遠にわたって導き入れます。

OL3: 新しい契約の中心、中心性は、内なる命の法則です。神聖な命の法則、命の霊の法則は、神聖な命の自動的な原則、自然な力です。三一の神は、肉体と成ること、十字架、復活、昇天という手順を経て、命の霊の法則となり、私たちの霊の中に、「科学的な」法則、自動的な原則としてインストールされ(組み込まれ)ました。神と私たちの関係は今日、命の法則に完全に基づいています。あらゆる命には法則があり、法則でさえあります。OL4: ローマ8章の主題は命の霊の法則です。この章は、全聖書の焦点と宇宙の中心と考えることができます。こういうわけで、私たちはローマ8章を経験しているなら、宇宙の中心にいるのです。神は今私たちの中において、自動的に、自然に、無意識のうちに活動する一つの法則となって、私たちを罪と死の法則から解放しています。この事は、神のエコノミーにおける最大の発見、さらには最大の回復の一つです。ローマ8章の命の霊の法則を享受することは、私たちをローマ12章のキリストのからだの実際の中へともたらしめます。私たちがからだの中で、またからだのために生きるとき、この法則は私たちの内側で活動します。OL5: 神はご自身の神聖な命を私たちの中へと分け与えることによって、この最高の命の最高の法則を、私たちの霊の中へと入れます。この法則は私たちの霊から、私たちの内側の各部分の中へと、すなわち、私たちの思い、感情、意志の中へと拡大し、いくつかの法則となります。この法則が私たちの中で拡大することは、分け与えることです。

適用: ビジネスパーソン・大学院生編

新しい契約の中心は、あなたの中に設置された命の霊の法則です。この命の霊の法則は、全聖書の焦点であり、宇宙の中心でもあります。

六日間で万物を創造することができる大能の神が、人となること、33年半の人間生活、死、復活、昇天の長いプロセスを経られました。あなたは、「神が経過された

この長いプロセスの目的は、一体何でしょう?」と神に尋ねることができます。この神のプロセスの目的は、彼が命の霊の法則となり、あなたの中に設置されるためです。あなたはこの事を信仰の中で考慮し、祈って下さい。そうすれば、その驚くべき価値を知るでしょう!

あなたは命の霊の法則をビジネスライフや研究生活で実際に経験するために、ネヘミヤの事例を読んでください。ネヘミヤ1:3 彼らは私に言った、「あの州の捕囚を免れて残された者[レムナント]は、極めて悪い状態と辱めの中にあり、エルサレムの城壁は崩され、その城門は火で焼かれてしまっています」。ネヘミヤはこのニュースを聞いた後、嘆き悲しみ、数日間断食して祈りました。

2:1 …これまで、私は彼の前で決して悲しんだことはなかった。2 王は私に言った、「あなたは病気でもないのに、なぜ悲しい顔をしているのか? きっと何か心に悲しみがあるに違いない」。私は大いにおびえた。3 そして、王に言った、「王がいつまでも生きられますように! 私の父祖の墓のある場所、その町が荒廃し、その城門が火で焼き尽くされたままであるのに、どうして悲しい顔をしておられるのでしょうか?」。4 王は私に、「あなたは何を求めようか?」と言った。そこで、私は天の神に祈った。5 そして、王に言った、「もし王が良しとされ、あなたのしもべがあなたの前で好意を得ますなら、私をユダに、私の父祖の墓のある町に遣わして、それを再建させてください」。この後、王はネヘミヤに宮と城壁の再建の働きを命じ、最終的に彼はそれを完成しました! この素晴らしい結果は、「神のみこころが妨げられていることについての断食の祈り」(1:3~4)と「短い祈り」(2:4)とこれらの祈りから生み出された「進取性」(2:5)から始まりました。

自分の献身を更新し、神のみこころが妨げられていることについて断食の祈りをしてください。更にビジネスライフにおいて、度々主の御名を呼び求め、事ある毎に短く祈ることを訓練し、思いを霊に付けてください。そうすれば、命の霊の法則が自然に作動し始めます。

例えば、あなたも上司に重要なことを聞かれた時、主イエスに短く祈って、答えることができます。ネヘミヤがあなたの模範であるとは、あなたがそれを真似ることができるという意味です。オリンピック選手は、あなたの運動能力における模範ではありません。運動をする時、彼らの真似をしてはいけません。しかし、ネヘミヤは信者の模範ですので、真似ることができます。そして、あなたは彼を真似ることは難しいことではなく、命の霊の法則の内側の活動の中で、容易なのです。あなたがエレミヤ、ネヘミヤ、パウロの模範に従って、命の道を歩み、祝福されますように! 最終的に、命の霊の法則は、あなたの魂に神聖な命を拡大させ、造り変え、あなたの召会生活をキリストのからだの実際の生活にします。キリストのからだの実際が、命の霊の法則の働きの目標です。

祈り: 「おお主イエスよ、神が手順を経られ、今、私の内側に命の霊の法則として設置されていることを感謝します。命の霊の法則が、新しい契約の中心であり、全聖書の焦点であり、宇宙の中心です。ビジネスライフにおいて、私の内にあるこの命の霊の法則を作動させるために、度々主の御名を呼び求め、ネヘミヤのように、事ある毎に短く祈ります。またネヘミヤのように、ビジネスライフを神のエコノミーの遂行のために捧げます。アーメン!」

CP3:私たちは主観的に、内側から、命の感覚によって、神を知ることができる。肉に付けられた思いは死であるが、**霊に付けられた思いは命と平安である**

OL1:私たちが主に触れ、主と接触し続けているとき、命の法則、すなわち、命の霊の法則は自動的に、自然に、何の努力も必要とせず働きます。命の法則の機能は、命の成長を必要とします。**OL2:**「私は彼らの神となり、彼らは私の民となる」(ヘブル 8:10, エレミヤ 31:33b)。神が私たちの神となるとは、神が私たちの嗣業であることを意味します。神が私たちにその霊を与えるのは、私たちの嗣業の保証としてだけでなく、私たちが神から受け継ぐものの前味わいとしてでもあります。その霊の担保は少しずつ私たちの中へと神を増し加え、ついには私たちは永遠の中へと入り、神を私たちの満ち満ちた享受として持つようになります。**OL3:**私たちが神の民となるとは、私たちが神の嗣業であることを意味します。私たちは、自分の享受のために神を私たちの嗣業として受け継ぐだけでなく、神の享受のために神の嗣業ともなります。神が私たちの中へと造り込まれることによって、私たちは神の嗣業へと構成されつつあります。これは造り変えであり、主観的な聖別でもあります。神はご自身の聖霊を私たちの中へと証印として入れ、私たちが印づけました。この事は、私たちが神に属することを示しています。この証印は生きたものであり、私たちの内側で働いて、神の神聖な要素をもって私たちに浸透し、私たちが造り変え、ついには私たちの体を贖います。

OL4:「彼らはそれぞれ同じ国民に、またそれぞれ兄弟に教えて、『主を知れ』と言うことは決してない。それは、小さな者から大きな者まで、彼らがみな、私を知るからである」(ヘブル 8:11, エレミヤ 31:34a)。私たちは主観的に、内側から、命の感覚によって、神を知ることができます。命の感覚は、私たちの内側にある神聖な命の感覚、知覚です。命の感覚は、神聖な命、命の法則、その霊の油塗りからやって来ます。命の感覚は、消極面では死の感覚であり、積極面では命と平安の感覚です。私たちは命の感覚にしたがって命の原則の中で生きるべきであり、正しいか間違っているかの原則、すなわち死の原則にしたがって生きるべきではありません。この事は、善悪知識の木の原則にしたがってではなく、命の木の原則にしたがって生きることです。命の感覚は、私たちが天然の命の中で生きているか、あるいは神聖な命の中で生きているかを私たちに知らせ、また私たちが肉の中で生きているか、あるいは霊の中で生きているかを私たちに知らせます。「神に仕え、神のために働くために、クリスチャンは善悪知識の木から離れ続けることを学ばなければなりません」。**OL5:**究極的に、私たちが、内住する霊を神聖な命の自動的な法則、すなわち、命の霊の法則として享受することは、キリストのからだの中にあり、キリストのからだのためであって、この享受には目標があります。それは、私たちが神格においてではなく、命、性質、表現において神とし、神の永遠のエコノミーの目標、すなわち新エルサレムを完成することです。

適用: 奉仕者編

ローマ8:6 肉に付けた思いは死ですが、**霊に付けた思いは命と平安です**。エペソ4:18 彼らは、理解することで暗くなり、彼らの中にある無知のゆえに、その心のかたく

なさのゆえに、神の命から遠ざけられ、**19 感覚を失ってしまい、自分自身を淫蕩にゆだねて、飽くことなくあらゆる不潔を行なっています。消極的な面での命の感覚は死の感覚です。それは、弱さ、むなしさ、困難、不安、圧迫、渇き、暗やみ、痛み、その他の消極面での内側の感覚です。積極面での命の感覚は、力、満足、平安、安息、解放、生き生きしていること、潤い、明るさ、心地よさ、慰めなどです。これらの命の感覚は、あなたが天然の命を生きているのかそれとも神聖な命を生きているのかを知らせます。また、肉の中に生きているのか、それとも霊の中に生きているのかを知らせます。**

次に、あなたは必ず主に心を開き、**霊を活用して、命の感覚に従う**ことを学んでください。命の消極的な感覚がある時、あなたは悔い改めて方向転換すべきです。命の積極的な感覚がある時、あなたは現在の命の実行を継続し、増強すべきです。このようにして、主はあなたを命の中で導き、前進させ、新エルサレムを建造し、その中にとどまり続けさせます。

命の感覚に従う事ができれば、命の霊の法則は内側で更に働き、あなたに新人を成就させ、彼らの機能を発展させることができます。命の霊の法則は、キリストのからだの中で働き、キリストのからだの建造のためです。究極的に、命の霊の法則の享受は、私たちが神格においてではなく、命、性質、表現において神とし、神の永遠のエコノミーの目標、新エルサレムを完成します。

兄弟の証し:私が大阪に住んでいて、転職を検討していた時、大阪の大手企業と神戸の中小企業から採用のオファーをもらいました。この件で台湾の同労者に相談すると、「神戸は大都市なのに地方召会がないので、神戸に行くように」と強く勧められました。その話を聞いている時、内側に聖霊の油塗りと平安を感じました。しかし、当時義父が私たちのために購入した大阪のマンションに住んでいたことと、また神戸の会社が中小企業であったので、神戸には行かないことを決定しました。その時、内側の命の積極的な感覚を失いました。

しかしながら、その後主の憐れみと驚くべき導きのゆえに、最終的に、命の感覚に従って、神戸の会社に転職しました。主を賛美します! 1992年4月から神戸で、3人の主日集会を始めました。

この会社では、有給休暇が取れませんでしたので、台湾召会訪問などに出て行くことができませんでした。このことを祈っていると、外資系大手会社に転職することができました。私は、命の感覚に従って祈っている時、「主が転職させて下さったので、必ず、有給休暇を自分のためではなく、ブレンディングのために使わなければならない」と心の中で言いました。その後も命の感覚に注意し、それに誠実に従うことで、主はずばらしい方法で私と家族を導いてくださり、命の道の中に留まり続けることができました。**祈り:**「おお主イエスよ、命の感覚とは、消極的な面では死の感覚です。例えば、内側に弱さ、むなしさ、困難、不安、圧迫、渇き、暗やみ、痛みを感じる時、**霊に従ってではなく肉に従って生きていることを認識します。悔い改めて霊を活用して主の名を呼び、思いを霊に付けます。主との交わり、また前進している兄弟姉妹との交わりの中で内側に聖霊の油塗りと平安、力、満足などを感じた時に、すぐに命の感覚に従います。アーメン!**」